

教会創立104周年

週報

2026年8月23日 5408週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ

「見よ、兄弟たちが共に座っている。

なんという恵み、なんという喜

ばい。

巻頭言

牧師 加藤英治

私に影響を与えてくれた本④

菊地 譲『この器では受け切れなくて』（新教出版社、2012年）、他

菊地さんは、東京の山谷（長らく「日雇い労働者の町」として知られてきた地域）で、「まりや食堂」という食堂を開き、そこに住み、働き、生きる人々に仕えておられます。同時に、日本基督教団山谷兄弟の家伝道所を設立し、牧師・伝道者としても働いておられます。この本は、その働き・経験の中から与えられ導かれてきた随想などを、まとめたものです。その後、続編、続々編が出版されました。

まず、この「まりや食堂」を通じた伝道の歩みをこのように述べられます。「それは自己発見の歩みだ。心に埋め込まれた宝を探す旅だ。山谷の厳しさゆえに、さまざまな問題が大きな壁となり、大きな門扉として私の前に立ちはだかっていた。その最中——イザヤ書五三章の宝を掘り当てた。この五三章こそ山谷伝道で得た精神的支柱である。このみ言葉に支えられて今日に至る。」

菊地さんは、青山学院大の神学科を卒業後、しばらくして山谷にご自身も一人の日雇い労働者となつて伝道を始められます。「現場に入れば、まず労働者との出会いがあり、収入もある。もう一つは苦の共有だ。日雇い労働者に伝道するのに、自分は汚れず安全な場所から福音を述べても、それはむなしいことだと感じていたからだ。」

そうして始まった働きは、並大抵のものではありませんでした。「私にしても、日雇い、怪我、肉体労働のつらさ、酔っている人の無理解、妄想を持っている人の危険な攻撃などに悲鳴を上げながらも、——召し出しにおすがりして歩んできた。そのような歩みの中で示されたのがイザヤ書五三章だった。——主の僕は、自分を嘲る者、無理解者のために痛み、死んでいく。同情し、悲しんでくれる人がいるなら、傷ついてもまだ慰められる。しかし、主の僕は徹底的な無理解の中で死んでいく。これほどの痛ましいことはない。これが神の愛だ。大変な愛だ。——苦しむ人の苦しみを引き受ける神は、人々にその奉仕を要求する。奉仕は痛みを伴う場合がある。その痛みが耐えがたいときに、無理解の中で死なれた痛みの神が理解でき、その無限の愛の中で慰めを得る。私はイザヤ書五三章に助けられ、鼓舞されて今日を走り続けている。」

日本バプテスト シオン山教会

牧師：加藤英治

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-1

TEL:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 木村正美執事

奏楽 加藤美代子姉

前 奏

招 詞 ヨハネ 16 : 33

頌 栄 670 (主のみ名をほめまつれ)

主の祈り (新生讃美歌の扉を参照) 」

交 読 みんなの平和こうどくぶん (第三週)

讃 美 91 (恵みのひかりは)

聖 書 サムエル上 24 : 1 ~ 16

(新共同訳旧 468 p 口語訳旧 420 p)

祈 禱

子どもメッセージ 加藤英治牧師

讃 美 311 (わが魂救われぬ) 聖歌隊

宣 教 「神を信じて、平和を求めて生きる」

加藤英治牧師

祈 禱

讃 美 507 (主の手に委ねて)

献 金 祈り : 酒井光子姉

(女性会 B 班)

頌 栄 672 (ものみなたたえよ (B))

祝 禱 加藤英治牧師

後 奏

報 告

◎今月の聖句

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。」

(エフェソ 2 章 14 節 a)

本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 二木榮子 持田文重

お花 : 酒井光子

聖歌隊練習・会堂掃除

11 : 50 ~ 12 : 05

昼食 12 : 05 ~ 12 : 40

各部会 12 : 40 ~ 13 : 40

定例役員会 13 : 30 ~ 14 : 30

◎今週の集会 (8月23日 ~ 8月29日)

<聖書>サムエル下 9 : 1 ~ 13

26日(水) 祈禱会は朝晩とも休会

今週の聖書日課と祈り

23日(日) サムエル下 6 : 1 ~ 23 満嶋 稔

24日(月) 詩編 131 : 1 ~ 3 三ツ股康恵

25日(火) マルコ 12 : 38 ~ 40 持田文重

26日(水) イザヤ 1 : 15 ~ 17 持田喜明

27日(木) ルカ 14 : 12 ~ 14 守田牧子

28日(金) ミカ 6 : 6 ~ 8 安武由美子

29日(土) ヨハネ I 4 : 18 ~ 21 山下一恵